ASCOT CORP.

平成 23 年 10 月 12 日

各　　位

会 社 名　株式会社アスコット
代表者名　代表取締役社長　加賀谷慎二
（JASDAQ：コード番号：3264）
問合せ先　取締役経営管理部管掌　田端　悟
（TEL．03-5363-8426）

業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 10 月 28 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1．平成 23 年 9 月期　連結業績予想（通期）の修正（平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回予想（A）	5,480	300	106	105	4 円 60 銭
今回修正予想（B）	3,750	350	106	120	5 円 21 銭
増減額（B－A）	△1,730	50	－	15	
増減率（%）	△31.6	16.7	－	14.3	
（ご参考）前年実績（平成 22 年 9 月期）	576	△388	△705	△495	△28 円 06 銭

2．業績予想の修正理由

（1）売上高

平成 23 年 9 月期通期における売上高は、前回予想と比較して 1,730 百万円減少し、3,750 百万円（前回予想：5,480 百万円、増減率：31.6%減）となる見込みであります。

主な要因として、当連結会計年度までに売却を予定しておりました収益不動産開発 2 物件について、次の理由により売買契約の締結には至りませんでした。

① 平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災による収益物件を取り巻く取引環境の悪化

② 東京都都心エリアの分譲マンション開発用地の土地仕入における取引市況は、僅かながらも上昇しているものの、オフィスビル、商業施設等の収益物件の取引市況は、マーケットプレイヤーの不在、オフィスビルの空室率の拡大等により復調の兆しは未だ見られないこと

なお、当該 2 物件につきましては、平成 24 年 9 月期以降において、収益物件の取引市況の回復が成された時での売却を計画しております。

（2）営業利益、経常利益及び当期純利益

平成 23 年 9 月期通期における営業利益は、前回予想の営業利益と比較して 50 百万円増加し、営業利

益 350 百万円（前回予想：営業利益 300 百万円、増減率：16.7%増）となる見込みであります。

主な要因として、収益不動産開発 2 物件の売却が実現しなかったものの、分譲マンション開発 2 物件（アスコットパーク日本橋小伝馬町、アスコットパーク東京八丁堀）の開発費用（売上原価及び販売管理費）が予想数値より大幅に圧縮されたこと、販売管理費に係る経常経費に関して継続的にコスト削減を実施した効果が表れたこと等の理由により、前回予想の営業利益数値から 16.7%増加しております。

平成 23 年 9 月期通期における経常利益は、前回予想の経常利益と同様の 106 百万円（前回予想：経常利益 106 百万円）となる見込みであります。

主な要因として、営業利益は前回予想の数値と比較して 16.7%増加したものの、収益不動産開発 2 物件の売却が実現できず、当該物件に係る支払利息等の営業外費用が増加したこと等の理由により、前回予想の経常利益数値と同様となる見込みであります。

平成 23 年 9 月期通期における当期純利益は、前回予想の当期純利益と比較して 15 百万円増加し、当期純利益 120 百万円（前回予想：当期純利益 105 百万円、増減率：14.3%増）となる見込みであります。

主な要因として、特別損失にて、東日本大震災に伴う当社開発の分譲マンション（引渡済）の修繕費として災害損失引当金を計上、法人税等では、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の計上等の理由により、前回予想の当期純利益数値から 14.3%増加しております。

なお、1 株当たり当期純利益は、当期純利益の増加に伴い、前回予想の 4 円 60 銭から 5 円 21 銭となる見込みであります。

以　上

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日における予想を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる場合があります。